

期末テスト2週間前!!

梅雨の真っ只中ですが、よく晴れて暑い日が続いています。「緊急事態宣言」が発令中ですが、昨年とは違って今年は通常通りの授業が行われ、部活動も制限がありますが実施されています。



再来週23日(水)からは期末テストが始まります。コロナ禍によって中間テストが中止になりましたので、1年生の皆さんはじめての定期テストになります。あと2週間。しっかりと計画を立てて、弱い自分に負けないように勉強していきましょう。とは言うものの、張り切りすぎて徹夜したりして体調を崩してしまってはいけません。体調管理もテスト計画の一部ですよ。気をつけていきましょう。

《菜園のナスの花とトマトの実》

ところで皆さん覚えていますか？昨年は6月から新学期がスタートし、中旬までは分散登校をしていましたね。部活動が再開されたのも中旬からでした。そんな中で、「あたり前の生活のありがたさ」を噛みしめた日々でした。

全校集会に代えて

そんな「あたり前の生活のありがたさ」を忘れないためにこんな話を紹介します。

読売新聞に、ある中学生の詩「私の一番の幸せ」が紹介されました。「毎日笑える事楽しくすごせる事 あたり前に思えるけど幸せな事」と彼女は言います。「文字の読み書きができる事、きれいな水が飲める生活にも幸福を感じる」と続きます。この詩を目にしたある婦人が地元紙に次のような感想を寄せたそうです。「“普通の生活”という ことばの ありがたみを 毎日感じて感謝しています」「あたりまえのことを書いてくれて 気づかせてくれて ありがとう」

あたり前のことに感謝できる心。それは「あたり前をあたり前と思わない」心ともいえます。世界に目を転じれば、読み書きができない15歳以上の人々は約8億人もいるようです。安全に管理された飲み水を使用できない人は22億人に上るといわれています。文字を使いこなせるようになるまでに、どれだけ多くの人の関わりが必要であるか。安心して水が飲める社会を支えるために、どれほどの人が汗を流しているか。私たちは、そこに思いをはせる心を失ってはいけません。心が大きければ大きいほど、他の人々の気持ちを受け入れることができます。大きい分だけ、喜びも感動もたくさん感じることもできます。

いつも感謝で心を満たせる人は素敵な人だと思いますし、幸せな人だとも思います。「あたり前の生活のありがたさ」をいつも噛みしめながらの日々でありたいですね。

恒休みの図書館開館

先週から恒休みの図書館開館が始まりました。1年生も本の借り方など



のオリエンテーションが終わり、図書館を利用できるようになりました。図書館補助員の方や図書委員の皆さんのが図書の紹介や図書館の環境をさまざまに整えてくれています。また、図書委員が輪番で当番をし、貸し出しありもPC・バーコードで「ピッピッ」と管理しています。良書との出会いを期待して、どんどん図書館へ足を運んでくださいね。

水着販売

延期されていた水着の販売が本日行われました。特に1年生は昨年度コロナ禍によって水泳の授業がなかった人もいます。中学校では感染症対策をしっかり実施する中で水泳授業を行っていきます。苦手な人もいると思いますが、水に慣れることは今後の生活でも大切なことの1つです。頑張って挑戦していきましょう。

校長談

「きれいな水が飲める生活」というと思い出することがあります。私は、かつて中国の大連で3年間生活したことがあります。〔「花乃井だより(第20号)参照〕

外国で生活する際には特に飲料水をはじめ生活用水などの“水”に配慮する必要があります。その時にも飲料水は水道の水ではなく、市販されているミネラルウォーターにするようにアドバイスを受けていました。しかし、洗面やお風呂などは蛇口の水に頼らざるをない毎日でした。そして、3か月余りが過ぎたころ、極度の下痢症状が続くようになってしまったのです。それまでにも下痢になったことは何回かありましたが、いずれも軽いもので1~2日で治っていました。しかし、その時は2週間たっても治る気配がなく、もちろん病院にも行き、薬もいろんなものを飲みましたが、全然良くならなかったのです。痛みがほとんどなかったことが不幸中の幸いでしたが、何度もトイレに駆け込まなければならぬことがとてもしんどかったです。

結局、最後は当時住んでいたマンションの管理人さんからの紹介で、鍼灸・つぼマッサージ治療を1週間ほどやってもらったのですが、これがまたものすごく痛かったのです。「こんな痛い思いをするのなら下痢が治らなくてもいい」(笑い)とまで思ったほどですが、さすが中国4000年?の伝統ある鍼灸・つぼ治療。(実際はもうそろそろ治るころだったのかもしれません)見事に治ってしまいました。その後、帰国するまでの間、軽い下痢には何度もなりましたが、悩まされるほどではありませんでした。その上、他の病気にも一切からなかったのでした。文字通り「水に慣れた」のかもしれませんね(笑い)。私のことをとても心配してくれたマンションの管理人さんには本当に感謝しています。素晴らしいことに今でも年始等の挨拶を返してくれています。これもまたとてもありがたいことだと思います。